

大場 正昭 議員

30人学級の実現を

Q 問 子供たちや家庭を取り巻く環境は、日々変化している。生徒の希望する進路実現に向けて、きめ細かい指導が必要となる。中学3年生に30人学級を導入する考えは。

A 答 この制度を導入した場合、現状に比べ7学級の増となる。本市で負担することとなる教員の人件費など相当の経費が必要になってくる。今後も、現状どおり40人学級を基本としていきたい。

健康づくりのさらなる充実を

Q 問 市民のさらなる健康的な生活習慣の定着を目指す上で、公民館単位に看護師、保健師を配置してほしいがどうか。

A 答 常設の保健師等の配置は組織運営上難しい面もあるので、来年度からは、地区担当保健師や、市が要請している運動リーダーなどで構成する(仮称)地域健康推進チームを特定の地区でモデル的に立ち上げ、地域による地域のための健康づくり事業が展開できる保健体制づくりに取り組んでいきたい。



袋井西公民館で行われた公民館保健室



常任委員会レポート

平成20年度一般会計・特別会計の補正予算などの議案を各常任委員会で審査しました。



市が取得した旧100円ショップ

旧100円ショップは、現在の施設を改修し、市役所の分庁舎的な施設とし、会議室や市民ギャラリーなどとしてほしい。旧シューズショップ跡地は、防災機能を持たせるなど、今後、両施設は、本市のまちづくりの拠点となるよう検討する。

この案件については、整備計画の報告・利活用明確化、十分な説明の3点について付帯決議がなされました。

市役所に隣接する旧100円ショップと旧シューズショップの跡地の利活用はどう考えるか。

総務文教
委員会

学遊館の持つ様々な機能について、4つの事業者の連携により、これまでの機能や運営を継承し、文化のまちづくりの推進拠点として充実させたい。月見の里公園についても、これまでどおり地域住民の積極的な支援をいただきたい。

月見の里学遊館は、指定管理者による運営となるが、どのように変わるのか。

総務文教
委員会